

方 針	1	実施期間	6月12日～6月17日
事 業 名	第3回北高等学校OB美術展 ※帯広市まちなか催事支援採択事業（早期枠）		
実施場所	帯広市民ギャラリーA室		
実施主体	北高等学校OB美術展実行委員会		
参加者（来場者）数	675人		
来年度の実施について	☐ 同じ内容で実施する ☐ 内容を一部変更し実施する ☒ 実施しない ☐ 未定		
実施した事業の内容	北高等学校卒業生25名と元教員4名、計29名の美術展として、油彩画、日時画、水彩画、アクリル画・パステル画、ペン画ディンブルアート、ミックスメディア、ボタニカルアート、イラスト、写真、染色、漆工芸、木彫カラクリ人形、人形の服飾デザインペーパードレス、ブックデザインと多彩なジャンルの作品87点を展示しました。ギャラリーパフォーマンスを6月14日(土)11:00～由良真一(画家)が着物姿の女性をモデルに肖像画、制作ライブ、同日14:00～山後是仙(書道家)による太字、一字書体験ワークショップを20名の方に書いてもらい、最後に本人による妙技を披露しました。 6月15日(日)13:00～約40分間に渡って、赤間裕史(書道家)が、ピアノ・オーボエ・フルートによる生演奏曲に合せ筆を運ぶパフォーマンス、同日14:00～加藤かおり(現代アート作家)さんのペーパードレス・作品・作年オーストラリアで行なわれたペーパーアートコンテストで大会特別賞を受賞した様子と、モデルが着用しパフォーマンスする動画をプロジェクターを使いながら帯広百年記念館の学芸員とのかけ合トークにより紹介し実際に使った紙をどのように折っていくのか実演してもらいました。		
事業実施により中心市街地活性化に寄与した効果・事業を通じて感じたことなど			
多彩なジャンルの作品とクオリティの高さに、「すばらしいね！びっくりした。」と感動してもらい、作品の前ではそれぞれの作家が思いを説明し、楽しんでもらえました。 4人の作家のギャラリーパフォーマンスは、この美術展でなくては味わえない「見て楽しむ・曲(音楽)と共に味わう・体験する」を身近に感じてもらえました。この様な展示方法(見せ方)は芸術文化振興に寄与できたと思います。 会員相互の年代を越えた作品を通じて出来たこととして、普段会えない仲間と意見交換出来たこと、また、この第3回展を街なかで盛りあげようと各方面に働きかけてくれたことです。 来場者からは「教室はやっていないの?」と問い合わせも数件あり以前から、美術、工芸書と文化の高い地域であると感じていましたが再認識させられました。			